

企業がいかに事業として社会課題や地域課題解決に貢献できるか  
CSV (Creating Shared Value)

観光×環境エネルギー分野、農山村活性分野の取組み

2014年12月11日(木)

(株)JTBコーポレートセールス  
ソーシャルソリューション 地域交流推進局

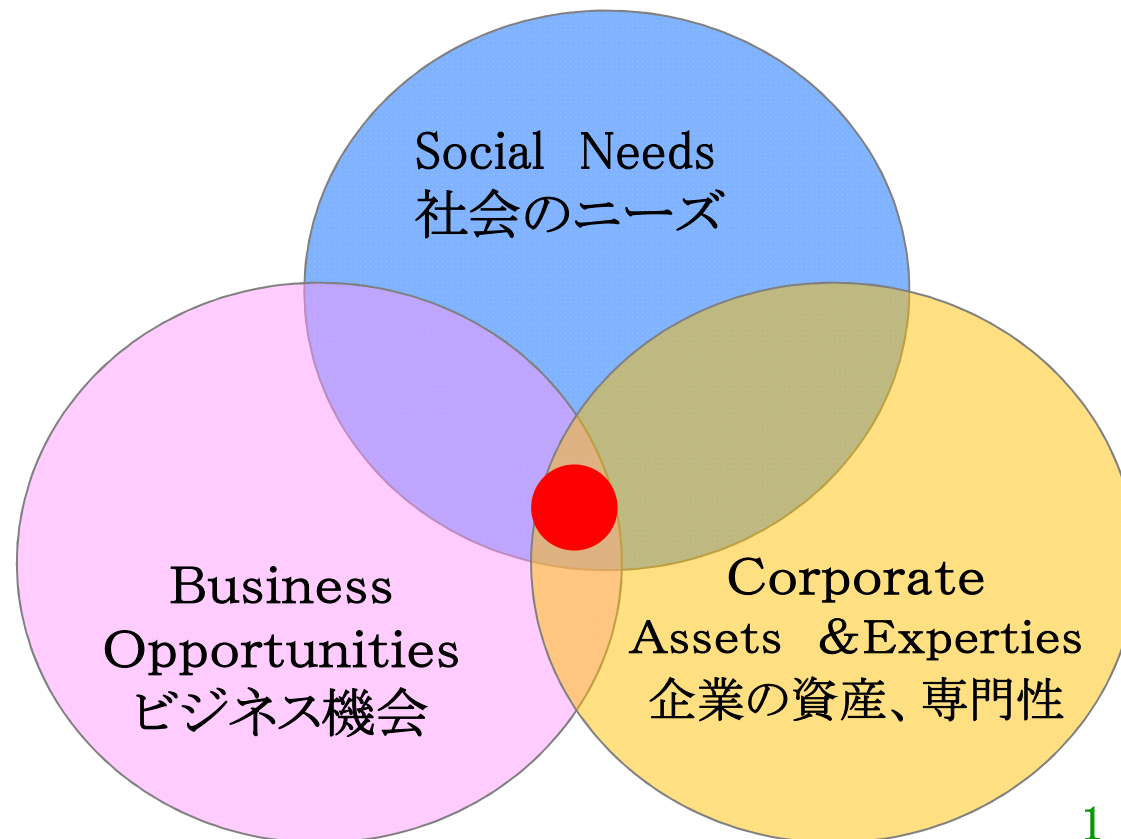
綿石 隆人



# CSVとは・・・

## ■ 共通価値 (Shared Value)・・・

- ✓ 企業が社会の問題に対して収益モデルを持つ事業として取り組むことで創造される
- ✓ 地域・社会の状況を改善しながら、自らの競争力も高めることのできる活動
- ✓ 収益獲得を通じて、短期的ではなく長期的な視点で取り組んでいくことができる





# CSVとは・・・

## 企業がCSV／シェアドバリューを生み出す3つの手法





# JTBグループにおけるCSV、交流文化事業

✓ 旅を通じて地域の方々の  
国内外の**交流を創造**

地域が持つ様々な課題を「旅  
の力」を活用して解決する取  
り組み

✓ 地域の方々と一緒になり  
**地域資源の魅力**を再発見

**眠っている宝に磨きをかけ、  
そして、日本全国、世界各国  
からの集客を促す**ことで地域  
活性化を図る継続的な活動

2012年(平成24年)3月12日(月曜日) (2)

JTBグループの交流文化事業 JTB創立100周年特集号

## JTBの交流文化事業

交流文化事業が社会に貢献する世紀——と今後100年の構想を掲げたJTBの田川社長。それは、JTBグループが交流人口を拡大し地域経済の活性化に努める「地域と生きる」世紀と言え換えられる。地域における観光の現状を示し、交流文化事業とは何かを概括したうえで、これからの地域観光とJTBグループを展望する。

**交流人口の拡大で  
地域経済を活性化**

JTBグループの事業領域

これまで

旅行周辺事業	旅行事業
--------	------

↓

交流文化事業

旅行周辺事業	旅行事業
地域交流ビジネス	

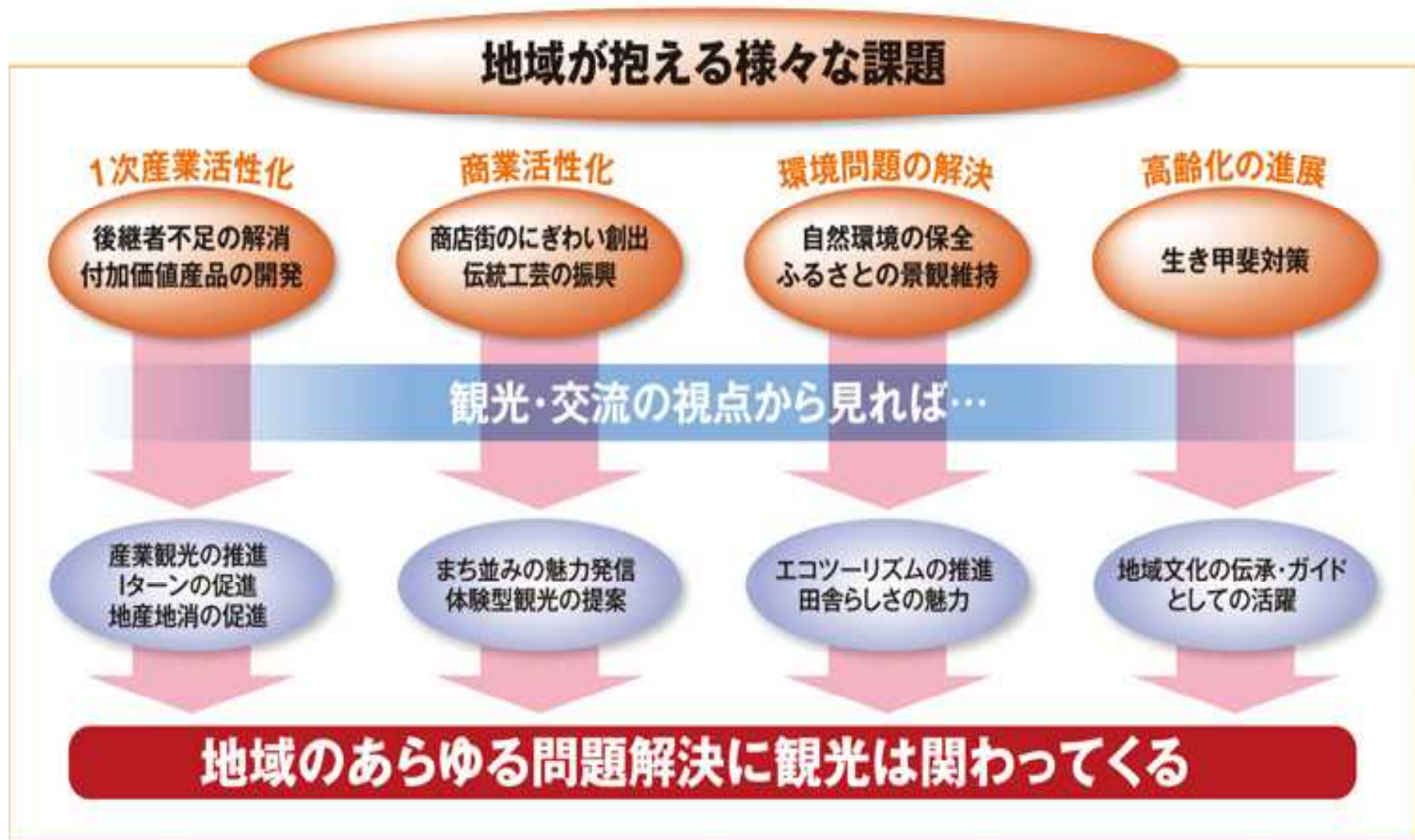
地域交流ビジネスなどの交流事業を取り込み販売を拡大

事業領域	現在の経営体制	これまでの経営体制
旅行事業	交流文化事業	旅行事業
旅行の周辺	交通	旅行
企画・開発	DMC	総合旅行業
営業の周辺	現地・現地	現地

その取り組み 化振びを親口の女の地地



# 観光による地域活性化とは





# 全国で展開する地域交流事業

## JTB地域交流プロジェクトの事業領域

**発地** 多様化・高度化するマーケット

### 地域マーケティング事業

広告宣伝・需要喚起・地域ブランド化促進

- 旅行商品造成・販売
- 新たな着地型旅行商品の造成・販売
- ブランド発信



観光マーケット  
(国内旅行・インバウンド)

**着地** まちづくり事業へ拡大・連動する地域観光

### 地域マネジメント事業

地域観光事業者  
(協会・宿泊・飲食・物産等)

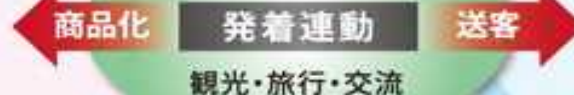
地域内連携事業

- 魅力あるまちづくり事業
- 地域プロデューサー型人材育成
- 地域物産開発
- 着地型商品開発

中央省庁  
地域支援

地域行政

地域関係者  
(農林漁業・商工業・文化・福祉等)



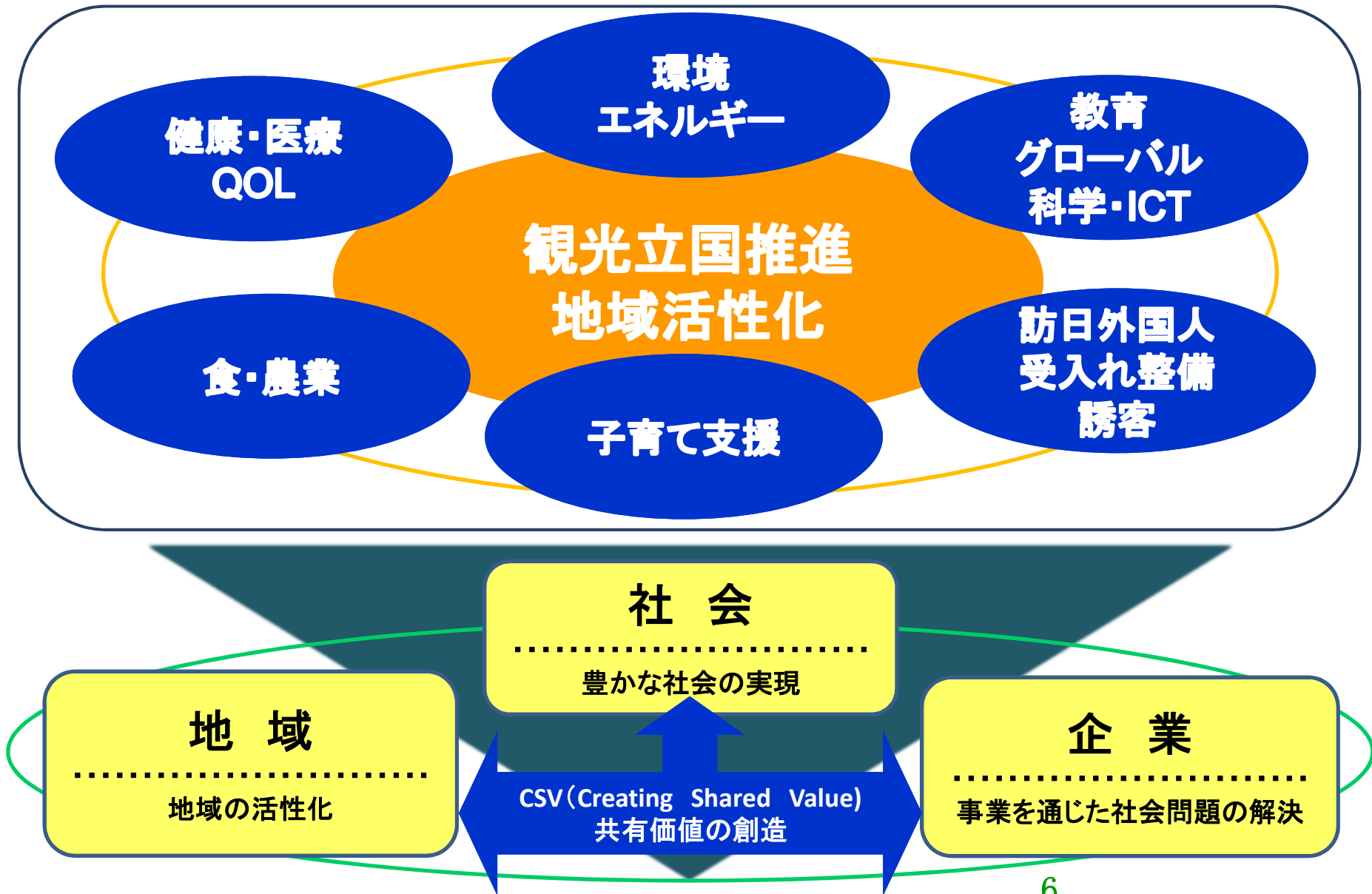
着地の人々の『こころ』を動かし、発地の『ひと』を動かす

観光を基軸とした交流人口の増大

地域経済の活性化



# 地域・社会課題の解決に貢献するCSV事業へ



## 観光×環境エネルギー分野のCSV

---





# 日本全国スマート化！ 観光×環境立国推進

## EVモビリティ観光活性化事業 5つのメニュー

### 貢献目標「3つの“E”こと」

- クリーンでECOな観光地ブランドの構築
- 2次交通の利便性向上で、地域内の回遊を促進
- 事業者様の毎月のコスト削減&新サービスの提供

1

EV充電器の設置



充電スタンド

2

EV充電課金の  
会員カードの発行



3

観光施設へのEV  
導入(レンタカー、  
シェアリング等)



5

地域プロモーション



4

EV着地型商品の  
企画(Smart ravel)





# 取組みの沿革

◇2010年 京都で初のEV観光タクシーの実証

◇2010年 鹿児島県屋久島で地球温暖化対策事業へ参画  
日本で初めてのEVレンタカー旅行商品を販売

## 2010 経産省 EVPHVタウン構想



屋久島でのEV旅行の出発式



京都編

地球にやさしい エコ観光  
EVに乗って京都を旅してきました!

京都MAP

充電体験!

屋久島編

「i-MEV」を利用した  
「地球に優しい旅」屋久島ステイ3日間

旅育! たびく

お子様の貴重な夏の  
体験を応援します。

滞在型レンタカー  
(マイカーの付)

エコロジーとエコノミー  
EV (電気自動車) レンタカープラン



# 取組みの沿革

◇2010年10月 エースJTBでEV旅行商品の第2弾を発売

- ・EV&ITSドライブ旅行 五島列島
- ・世界遺産候補地をEVで訪ねて

◇2011年9月 三菱自動車の全国販売店で「EV試乗キャンペーン」を実施

三菱のお店でi-MiEVにご試乗の上、ウェブか専用応募用紙のアンケートにお答えいただくと、抽選で20組40名様に「電気自動車でめぐる五島列島〈福江島〉3日間の旅」をプレゼント。

キャンペーン期間 2011年9月3日(土)～10月31日(月)

ご旅行実施期間 2012年1月15日(日)～2月27日(月)のうち弊社指定の期日2泊3日

キャンペーンの開催はこちら ▶▶▶ [www.ev-life.com](http://www.ev-life.com)

未来型電気自動車 Go around by Future Electric Vehicle

五島列島〈福江島〉ecoな旅

10.10/5～11.3/30

エースJTB

EV PROJECT

エースJTBオリジナル「あるみ丸」付!

世界遺産候補地を訪ねて

平泉の文化遺産の岩手県

小笠原諸島の東京都

彦根城の滋賀県

飛鳥・藤原の宮都とその関連遺産群の奈良県

長崎の教会群とキリスト教関連遺産の長崎県

10.10/1～11.3/31

エースJTB

5,000名の方がEVを初めて試乗



# 取組みの沿革

◇2011年 東京都地球温暖化対策事業 八丈島クリーンアイランド実証に参画  
100%八丈島の風力(再生可能エネルギー)で走る EVレンタカーを実証



東京都環境局 地球温暖化対策推進のための区市町村補助制度  
平成23年度八丈町環境観光町づくり事業

## 八丈町環境観光町づくりモニターツアー

このたびは、地球温暖化対策を目的とした「環境観光的町づくり事業」普及啓発の取組により、モニターツアーを実施いたします。本事業の目的は、八丈島の自然環境と観光資源を最大限に活用し、再生可能エネルギー（風力）の導入による環境観光の推進を図ることです。モニターツアーは、八丈島の自然環境と観光資源を最大限に活用し、再生可能エネルギー（風力）の導入による環境観光の推進を図ることです。

【モニターツアー】  
 開催日時：2011年10月1日（日）～10月2日（月）  
 開催時間：10時～16時（受付開始は9時30分）  
 開催場所：八丈町役場（〒110-8501 東京都八丈町）

【参加費】  
 参加費：10,000円（税込）  
 申し込み：10月10日（日）まで

【申し込み】  
 申し込み先：八丈町環境観光推進課（〒110-8501 東京都八丈町）  
 申し込み電話：04969-31040

【お問い合わせ】  
 お問い合わせ先：八丈町環境観光推進課（〒110-8501 東京都八丈町）  
 お問い合わせ電話：04969-31040

【主催】  
 主催：NPO法人 八丈島産業育成会

【協賛】  
 協賛：NPO法人 八丈島産業育成会、NPO法人 八丈島観光協会、NPO法人 八丈島環境協会、NPO法人 八丈島自然環境協会、NPO法人 八丈島歴史協会、NPO法人 八丈島文化協会、NPO法人 八丈島音楽協会、NPO法人 八丈島舞踊協会、NPO法人 八丈島児童会、NPO法人 八丈島青年会、NPO法人 八丈島婦人会、NPO法人 八丈島老人会、NPO法人 八丈島障害者会、NPO法人 八丈島ボランティア会、NPO法人 八丈島環境ボランティア会、NPO法人 八丈島観光ボランティア会、NPO法人 八丈島環境観光ボランティア会、NPO法人 八丈島環境観光モニターツアー実行委員会

## 導入設備の分布マップ



MiEVのなまえは、iランドトップ号  
ゴールデンキーを贈呈  
町長、町づくり関係者



# 取組みの沿革

◇2011年 東京都地球温暖化対策事業 **伊豆大島での環境観光まちづくり**に参画  
EV×ジオパークで伊豆大島のECOブランド構築

**入場無料**

## 観光・環境まちづくりとジオパークフォーラム

平成24年1月21日(土)～22日(日)

日時 第1部：1月21日(土)「伊豆大島ジオパーク」14:00～18:00  
第2部：1月22日(日)「観光・環境まちづくり」10:00～12:50

場所 大島町開発総合センター 2階 大会会場

**プログラム**

第1部「伊豆大島ジオパーク」	第2部「観光・環境まちづくり」
<b>前長挨拶</b> 14:00～14:05	<b>前長挨拶</b> 10:00～10:05
<b>基調講演</b> 「ジオパークを讀しむ」14:05～14:35 講演者：渡辺 真人 日本ジオパーク委員会理事、産業自然総合研究所 所長兼本報アワード編集グループ長	<b>基調講演</b> 「伊豆大島はTOKYOのジオパーク」10:05～10:35 講演者：矢野 道子 伊豆大島ジオパークアドバイザー
<b>基調講演</b> 「火山島 伊豆大島 そのなりたち」14:40～15:10 講演者：川邊 勉 伊豆大島ジオパーク推進委員会アドバイザー、産業自然総合研究所 伊豆大島ジオパーク推進委員会、NPO法人島民情報推進委員会 事務局理事兼伊豆大島推進研究グループ	<b>基調講演</b> 「伊豆大島 自然の恵みと伝統農社会」10:40～11:10 講演者：早稲田 尚策 内閣府観光戦略部、電気自動車を活用した観光・環境まちづくり事業 検討委員会 委員長 東京大学環境学研究所 教授 環境学専攻 准教授
<b>パネルディスカッション</b> 15:20～16:50 コーディネーター：伊藤 和明 伊豆大島山形物産産物部長 伊豆大島ジオパーク推進委員会、NPO法人島民情報推進委員会 パネリスト：川島 博史・渡辺 真人・丸島 尚・加藤 謙 川邊 勉入・西村 香也	<b>パネルディスカッション</b> 11:15～12:50 コーディネーター：伊藤 和明 パネリスト：丸島 尚・川邊 勉・加藤 謙・渡辺 真人 川島 博史・西村 香也

【主催】再生可能エネルギー・電気自動車を活用した観光・環境まちづくり事業 検討委員会  
【協賛】大島町、株式会社JTB伊豆大島、株式会社リサイクルランド  
【お申込方法】お電話にてお申込み下さい  
【お申込み先】再生可能エネルギー・電気自動車を活用した観光・環境まちづくり事業 検討委員会事務局 (社団法人 大島観光協会内)  
TEL：(04992) 2-2177号

ジオパークフォーラム  
を実施



椿まつりの先導車に..  
ミス伊豆大島EV..



多くのプレスの方々がMiEVを試乗

# 取組みの沿革

- ◇2011年12月 JTBと日本ユニシスが業務提携
- ◇2012年 5月 おでかけカードの発行スタート
- ◇2012年 4月 全国の観光地にEV充電網の整備を開始  
那須地域で充電器12基の設置、  
4旅館発着のEVプチレンタの実証



自然豊かな那須高原を  
クリーンでエコな電気自動車で爽やかに走りませんか？

《三菱i-MiEV》の詳細については下記URLをご参照ください。  
<http://www.ev-life.com/>

三菱電気自動車 i-MEV はガソリンを一切使わない環境に優しい車。  
もちろん、どうぶつ達にも





# 取組みの沿革

◇2013年4月 JTBとチャデモチャージが提携、チャデモチャージ付おでかけカード発行

2013年 経産省充電インフラ補助制度を開始

◇2013年9月 三菱自動車の全国店頭でチャデモチャージ付おでかけカードの入会キャンペーン




JTBは観光客向けの電気自動車（EV）関連サービスを加速する。日本ユニシスと連携し、2015年度をめどに充電スタンドを現在の20倍の1000基に増やす。EV用充電スタンドを利用する会員が遊園地や水族館の割引を受けられるサービスもこのほど開始。省エネや環境保護への関心が高まるなか、EVを使った旅行の普及を推進する。

## JTB「EVで旅」後押し

### 充電設備、15年度メド1000基に 遊園地など 会員向け割引も

JTBは栃木県那須町でEVを利用した旅行商品を開発してきた

JTBグループのJTBコーポレートセールス（東京・新宿）は日本ユニシスと組み、EV用充電スタンドを設置している。旅行者は会員に加盟すれば、両社が発行する個人認証カード「チャデモチャージ付きおでかけCard」を使ってスタンドを利用できる。現在、約60基ある充電スタンドを15年度中に3

#### EVの国内市場規模見通し

万台 (注)富士経済調べ

年	万台
2012年	0
13	2
14	3
15	5
20	10
25	15
30	35



# 取組みの沿革

◇2013年12月～ **JTBが普通充電器を1,000基保有し、旅館ホテル・観光施設に無償貸与へ**

2013年 自動車4社が充電インフラ支援を開始

◇2014年12月現在 **約1,655ヶ所(1200施設)**の申込み



**電気自動車の充電器**

**JTBが無償貸与**

受付1月末まで 観光地への設置を促進

JTBがEV・PHVの充電器を無償貸与する。全国の旅館・ホテル・観光施設に設置する。JTBは、JTBの中核として、ホテル・レンタカー施設

群馬県・伊香保温泉もJTBの働き掛けでEV・PHV普通充電器を設置した

自治体に対しEV・PHV普通充電器の無償貸与を提案している。通常では100万円程度かかる設置費用が不要で、充電に伴う電気代のみの負担で設置できる。活用する補助金の申請締め切りの関係から受付期間は来年1月末までと短い。低炭素な地域づくりを目指す観光地に早期の検討を呼び掛けている。

経済産業省は2013年度、EV・PHV充電インフラの拡充に向けて、充電器の本体と工事費の3分の2の費用を負担する補助制度、次世代自動車充電インフラ整備

茨城の被災地応援モニターツアー  
近ツー、旅行会社を募集

促進事業」を実施中。11月12日には自動車メーカー4社が、残りの3分の1の費用と8年間の維持費用(通信費、保守メンテナンス契約費、保険料)、充電器利用時にか





## 今後の展開

- 本年度JTB は1,500基の充電器を全国の宿泊施設等に設置
- 充電器設置宿泊施設の社用車にEVカーシェア車両を導入
- 燃料代コストカット、宿泊客への新たなモビリティとサービス提供

- 各旅館様送迎用車両のEV化
  - 充電器設置に伴い、ランニングコストが安いEVにすることでのコスト低減
- ご宿泊客様の周遊観光スポット2次交通手段としてEVの活用
  - ご宿泊客様の利便性向上
  - 地域観光誘客付加価値の向上(JTBとのコラボ)
- 環境負荷低減(エコ推進)地域としてのPR
  - 行政との一体推進(将来系)

実現したい  
こと



# 自動車メーカー×地域連携×JTB

- 自動車メーカー：EVの1週間無料貸し出し、ディーラーでの告知
- 地域側：宿泊特典、自治体が宿泊補助(3,000~5,000円)が効果的なSmart Travel

日産リーフで伊香保へGO!  
モニターキャンペーン!!  
宿で使える ¥1,000クーポン  
引き換えチケット付

首都圏⇄伊香保  
充電スポットMAP

伊香保エリア  
観光スポットモデルコース

JTBコーポレートセールス法人営業横浜支店  
〒221-0835 横浜市神奈川区豊原町3-29-1 第6変田ビル6F  
Tel. 045-316-0514 Fax. 045-316-5701  
営業時間 平日9:30~17:30(土日祝休業)

EVで行こう

日産リーフで伊香保へGO!  
モニターキャンペーン!!  
EVで行こう

キャンペーン参加モニター特典!!

引き換えチケット

宿で使える ¥1,000クーポン  
(お一人様1枚限り)  
プレゼント! ★このチケットを宿泊先にてご提示ください★

## 観光×農山村活性分野のCSV

---

構想段階(2020にむけて実現したいこと)



里山創生から観光立国実現！

SATOYAMA Style

構想段階

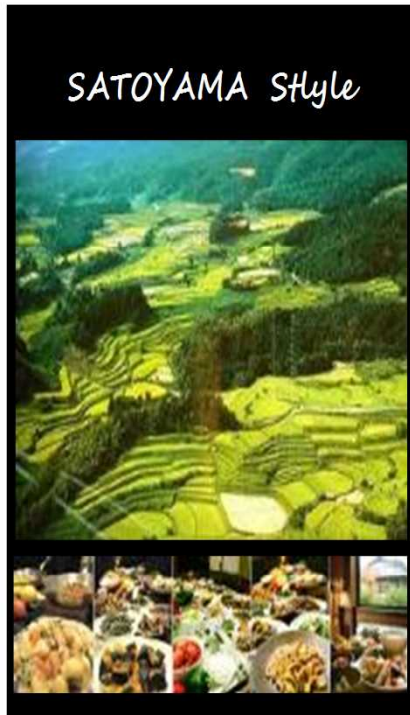
# 「SATOYAMA Style」とは

◆「SATOYAMA Style」は

「外国人目線」で、日本が誇る里山の資源を「デザイン」し、「EXPERIENCE」をキーワードに商品・サービス化、里山創生から観光立国を実現します



# 「SATOYAMA Style」 サイトイメージ



## Stay 滞在

ロングステイ  
菜園付き滞在施設

空き家古民家 1棟貸切

農家民泊  
ホストファミリー

木化トレーラー  
ハウス

※2地域居住や農山村活性化を推進する自治体、民間と連携。空き家古民家は不動産・ハウスメーカー連携

## Experience 体験

農家半日ホームビジット

アート&カルチャー

タウン&ビレッジ  
ウォーク&サイクリング

祭り・イベント参加

※今まで構築した全国の農村起業家、NPO、農業生産法人ネットワークと連携、ホストパートナー会員組織へ

## Café & Restaurant 農家レストラン

農家レストラン

田舎Café

畑でCOOK  
朝採り&BBQ

囲炉裏deフレンチ

※全国に点在するホンモノの農家レストラン、Caféの情報を整備から。プラットフォームが出来れば新ニーズあり

## Souvenia 土産

地域の採れたて逸品

匠の技 逸品

地域の酒 逸品

●●●

(EX)オータメイトのこぎん刺しや南部鉄器、酒蔵に味をオーターする名前入り吟醸酒など職人の顔が見えるレアモノ

## SPublishing 出版

SATOYAMA 百選  
(朝日新聞タイアップ)

るるぶ 里山 地域版

SATOYAMA るるぶ  
(和・英)

古地図アプリ  
里山散策用

(EX)朝日新聞と連携し、実際に訪問できて体験ができるガイドブック機能を果たす「New SATOYAMA百選」から

仲介モデル  
・購入者  
・提供者  
(システム使用料)

◆法人へのビジネス展開  
・1社1村運動と連携した  
企業の福利厚生、研修、  
健康プログラムへ  
・体験型カタログギフト  
・カード会員など組織  
会員向けのプログラム  
(えらべる倶楽部含む)

仲介モデル  
予約決済の場合  
提供者 ●%

◆地域自治体向け展開  
・2地域居住促進にむけ  
てモデルルームを中長期  
大勢型の体験商品へ  
・地域の空き家のシェア  
ビジネスを支援する機能

Eコマース、  
JT8商事のお土産販  
売のスキーム

SATOYAMA  
ギフト開発

他企業連携の出版  
コンテンツ提供

# 新たなマーケット「SATOYAMAツーリズム」のポテンシャル

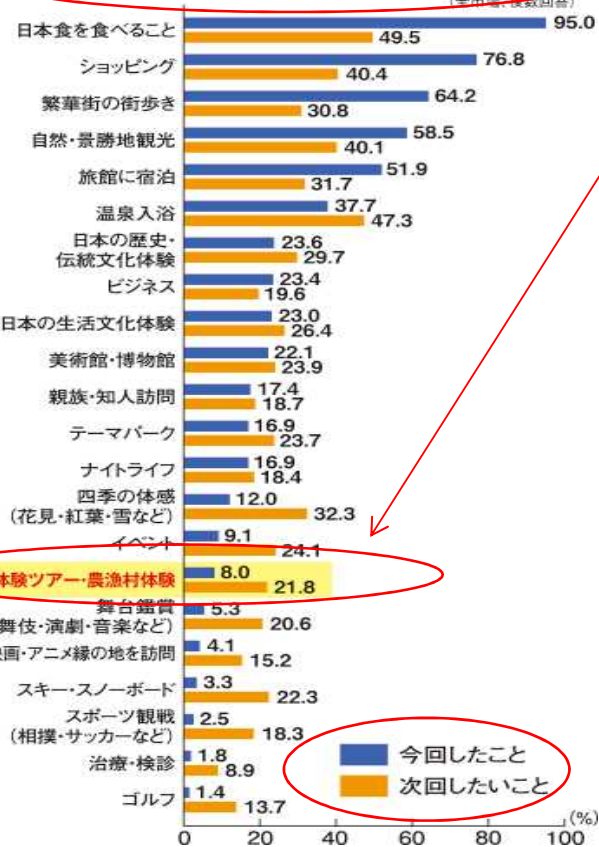
■ 訪日外国人: 1036万人(2013年)⇒2000万人(2020年) 現在比+1000万人

1000万人×10万円=1兆円 の市場が新たに生まれる！ ※訪日外国人旅行者の日本国内での旅行中支出額は平均約10万円

■ 新1兆円市場はゴールデンルートのみでは創出できない。 ※東京の主要ホテル平均稼働率90.6%

■ イタリアのグリーンツーリズムは1兆円産業。 ※農村での宿泊施設は2万軒、平均4.5泊、外国人は26%

## 訪日旅行者が今回実施した活動と次回実施したい活動



「自然体験・農漁村体験」を、  
今回した人:「8%」、次回したい人:「21.8%」

(仮説) 2020年:訪日外国人2000万人  
2000万人×10%×@10000円として 200億円市場

### 推進に向けた現状の主な課題

- (1) 日本の里山に関心を持つ外国人旅行者の特性やニーズ等のデータ不足
- (2) 外国人視点での里山に関する情報不足
- (3) 地域ごとの個別の取り組みの限界
- (4) Wifi環境、2次交通、決済システム
- (5) 旅行会社における契約のハードル

### 観光に関連した事業を実施している農業経営体

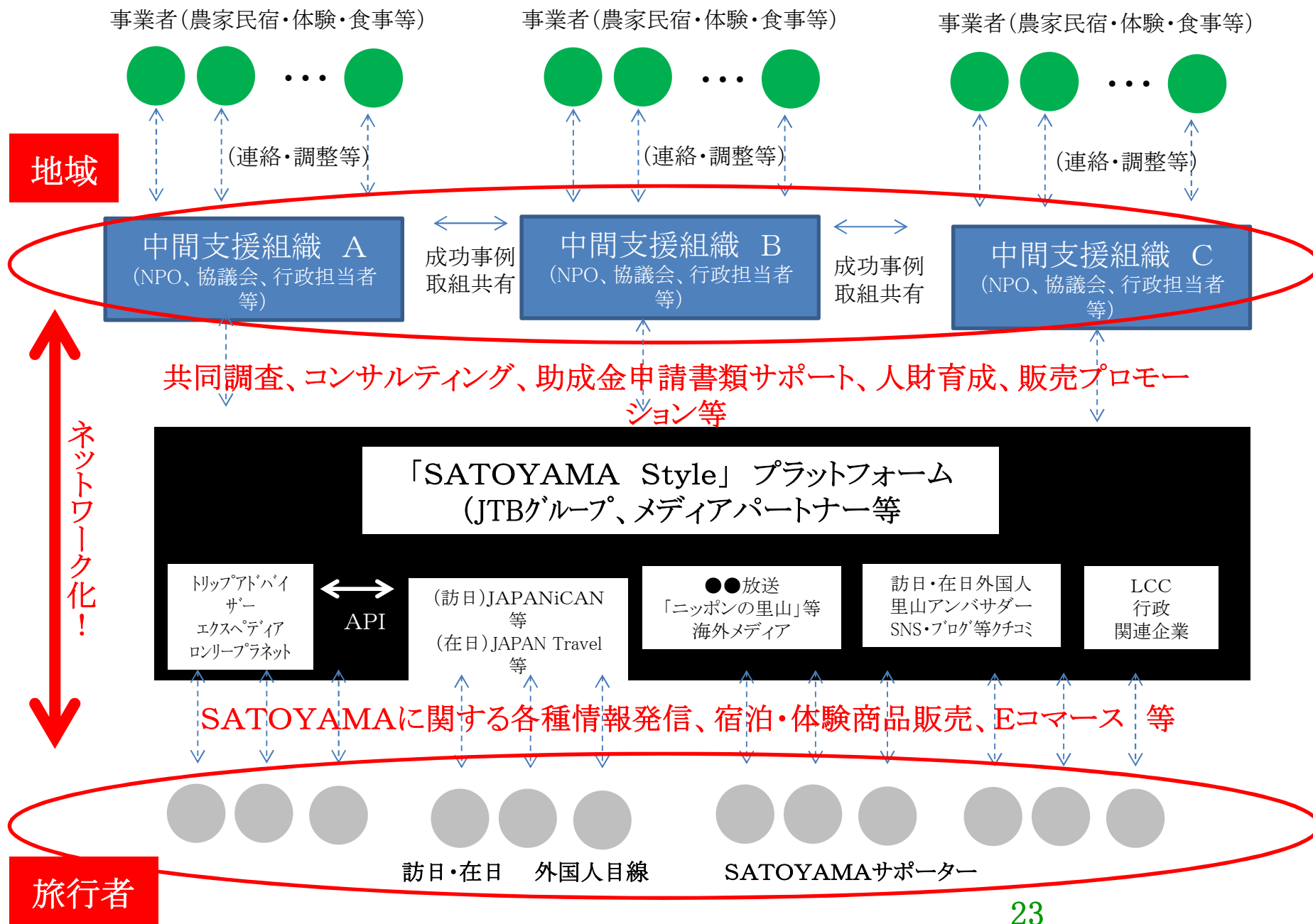
年度	平成17年 (A)	平成22年 (B)	対前比 (B/A)%
農家民宿	1,492	2,006	134%
農家レストラン	826	1,248	151%
貸農園・体験農園など	4,023	5,840	145%
観光農園	7,579	8,768	116%

旅行者視点でのグランドデザインが必要

「情報収集力」、「情報発信力・流通力」、「情報編集力(デザイン力)」

出所:観光庁訪日外国人の消費動向(平成25年)

# 全体スキーム(イメージ)





【A】基本的な“ポテンシャル“があるか

【B】“外国人目線”で“クール”か

“インバウンド“を知り尽くした  
有識者(実務家)による目利き

【機能的データ】

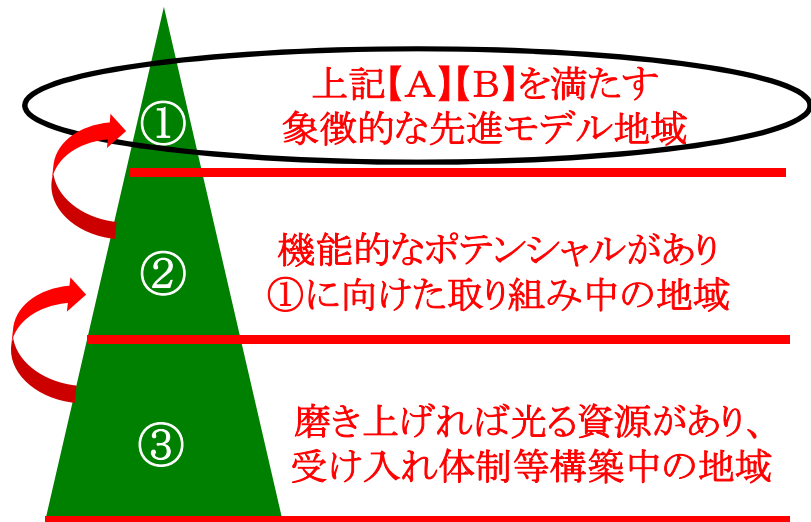
- ・「人」→地域リーダー  
熱意、ITリテラシー、よそ者視点・・・
- ・「受入れ体制」
- ・「外国人受け入れ実績」
- ・「立地、アクセス」  
周辺観光地、主要幹線、2次交通
- ・「宿泊施設」「体験コンテンツ」
- ・Wifi、通信環境、トイレ、風呂・・・

【デザインのデータ】

- ・「食」 “地域素材”を使った料理
- ・「体験コンテンツ」 “ならではの”  
“里山サイクリング”  
“匠ものづくり” “名物おじさん”  
“かかしアート” “祭り”・・・
- ・「景観」 棚田、千枚田・・・
- ・「伝統文化・匠のものづくり」
- ・Webサイトのデザイン

SATOYAMA  
Style

登録地域



この地域との連携からスタート！

